



海老名市立地適正化計画の位置づけと 今後の対応について

創志会 市川 洋一



立地適正化計画、都市マスター・プラン

問 これからまちづくりには、少子高齢化の進展や将来的な人口減少、道路や公園などの都市基盤の老朽化に対応し、環境負荷が少なく災害に強い安全・安心なまちづくりの推進が求められています。拡大型から安定・成熟型の都市への転換など、多様化する都市の課題に対応するコンパクトなまちの形成を促進し、生活サービス機能を計画的に向上していくために、おおむね20年後の都市の姿を展望する立地適正化計画が策定されました。

本市の今後のまちづくりへの対応、この立地適正化計画の位置づけと展開について伺います。この計画を策定して見えてきた本市が今抱えている課題についても伺います。

答 (市長) : 全国的な人口減少、少子高齢化が進む中、国

ではコンパクトなまちづくりを推進するため立地適正化計画の制度を設けました。市町村合併で多くの集落を抱えている都市などに比べ、本市は本当にコンパクトですが、この計画をしっかりと、国の支援制度を活用しながらまちづくりを進めたいと思っています。

答 (まちづくり部次長) : 課題は、20年間という計画期間の間の人口動態や社会情勢の変化など、想定を超えた不確定要素への対応だと考えています。定期的に評価を行い、継続的に修正、改善を図ることで対応してまいります。

問 まちづくりの観点では、これまで都市マスター・プラン

が上位に位置づけられ、これをもとにまちづくりが進められてきました。都市マスター・プランは、市街化区域だけでなく市街化調整区域も含めた市の全域が対象です。

立地適正化計画は市街化区域に限った計画で、居住誘導区域と都市機能誘導区域を設定し進

められますが、都市マスター・プランとの整合性をどうのよにとのか伺います。

答 (まちづくり部次長) : 都市マスター・プランは、市全体のまちづくりの将来ビジョンやその実現化の方策などを総合的に示したもので、立地適正化計画は都市マスター・プランの一部という位置づけになっています。

問 立地適正化計画では居住誘導区域を設定していますが、この区域以外に住むことを可能な限り減らして、この区域内への居住誘導を図るのでしょうか。考え方を伺います。

答 (まちづくり部次長) : この計画は、将来の人口減少を見据えた市街化区域のみの計画です。実際に市街化調整区域内には既存の集落などがありますので、基本的には将来、居住誘導区域内への居住を緩やかに誘導していきたいと考えています。個々の住宅建築などを制限するものではありません。

その他の質問

・交通安全の取り組みについて

・永池川河川改修と東部排水路（国分1号幹線）の洪水対策について



いちごの会 吉田 みな子
「ごみ問題について」

問

9月30日から始まるごみの戸別収集について、カラスや猫の対策、不法投棄対策の課題認識と市民への支援策についてのお考えを伺います。

答 (経済環境部長) : これまで実施した説明会やパブリックコメントなどで、カラス被害や不法投棄を懸念する声がありました。現在行っている詳細説明会ではカラスなどの鳥獣対策にも触れるなど、不安全感を払拭できるよう丁寧な説明に努めています。

問 戸建ての各家庭にもカラスネットを配布したり、折り

たたみ式ごみ収納ボックスなどの設置補助金を出してほしいとのご意見が多く寄せられています。予算が必要なことも、そうでないことも含め、市民の不安全感を払拭するため

その他の質問

・図書館について



収集ができるというお話をいただけています。ボランティアではなく、さまざまなやり方を模索していくことも必要と考えます。

その他の質問

に、市としてどのように最善を尽くすのか伺います。

答 (経済環境部長) : 戸建て住宅の支援について、各家庭で工夫をしていただきたいと考えており、現在助成は考えておりません。

問 市長は、5月28日の定例記者会見で、482人の事務職の職員が、収集作業に当たると発表されましたが、ごみの収集体制の現状と課題認識を伺います。

答 (経済環境部長) : 燃やせるごみの戸別収集は、12台の収集車両、45名の人員で対応するため、臨時職員の確保に努めています。現在、すでに2名採用し、あと7名の採用を見込んでいます。

その他の質問

・東柏ヶ谷三、四丁目の戸別収集業務を委託するシルバー人材センターの収集体制と人員確保について伺います。

答 (経済環境部長) : 契約前の調整中であり、具体的な人数は固まっていない状況です。人材確保は今の社会情勢から言つて厳しい部分があると思いますが、実施に向けて鋭意努めています。

問 東柏ヶ谷三、四丁目の戸別収集業務を委託するシルバー人材センターの収集体制と人員確保について伺います。

答 (市長) : 直営は市がやらざるを得ず、臨時職員が集まりませんので、今の段階では一般的な事務職を動員していきます。シルバー人材センターも、受託側として一生懸命努力します。人が集まらないと心配されますが、人が集まらないからやらないというわけにはいきません。

答 (市長) : 直営は市がやらざるを得ず、臨時職員が集まりませんので、今の段階では一般的な事務職を動員していきます。シルバー人材センターも、受託側として一生懸命努力します。人が集まらないと心配されますが、人が集まらないからやらないというわけにはいきません。

問 今後のごみの収集を、地域の市民に行つてもらいたいと記者会見で話されていました。初めて聞く方針であり、詳細を伺います。

答 (市長) : 地域の方から、「ごみ収集ができる」というお話をいただけています。ボランティアではなく、さまざまなやり方を模索していくことも必要と考えます。